

高校歴史総合プリント（過去問類似）
歴史総合（2025年～の共通テスト本試験）
No.10

名前

得点

/9

問1 19世紀前半、江戸幕府が天保の改革を進める一方で、諸藩も深刻な財政難を克服し、軍事力を強化するために独自の政治・経済再建策を断行した。この動きを通じて、専売制の強化や新田開発、洋式軍制の導入などに成功した薩摩藩や長州藩などの有力な諸藩は、のちに幕末の政局を主導する実力を蓄えることとなった。このような、各藩が主体となって実施した一連の体制立て直し策を何と呼ぶか。（2025年 全国公立入試 類似）

1. 藩政改革 2. 天保改革 3. 享保改革 4. 寛政改革

問2 近代東アジアの外交交渉を描いた絵画や写真において、清の外交官が辮髪を結っている姿は、ある歴史的出来事の発生以前であることを示す年代特定の指標となる。清朝を打倒して中華民国を樹立し、伝統的な辮髪の風習が廃止される直接の契機となった、1911年に勃発した革命は何か。（2025年 全国公立入試 類似）

1. 洋務運動 2. 五四運動 3. 辛亥革命 4. 戊戌変法

問3 1950年代、香港はそれまでの中継貿易港としての地位から、繊維やプラスチックなどの労働集約型製造業を中心とする工業都市へと急速な転換を遂げた。この背景には、中国内戦などによって流入した豊富な労働力の存在に加え、ある隣接地域での武力衝突に中国の義勇軍が介入したことで米中対立が激化し、中国本土との貿易が途絶えたことがあった。この契機となった、1950年に勃発した東アジアの戦争は何か。（2026年 全国公立入試 類似）

1. 国共内戦 2. 朝鮮戦争 3. 中印戦争 4. 中越戦争

問4 15世紀末にスペインの支援を受け、大西洋を西へ航海してカリブ海の島に到達した。この航海はヨーロッパによるアメリカ大陸への進出の契機となったが、本人はそこをアジアの一部であると信じていたとされる、ジェノヴァ出身の航海者は誰か。（2025年 全国公立入試 類似）

1. カルティエ 2. エルカーノ 3. コロンブス 4. ヴェスプッチ

問5 7世紀前半に分裂状態にあった北インドの大部分を統一して新たな王朝を創始し、仏教を厚く保護した王は誰か。この王は、唐から陸路で訪れた僧の玄奘を厚遇したことで知られる。（2025年 全国公立入試 類似）

1. チャンドラグプタ 2. ハルシャ=ヴァルダナ 3. サムドラグプタ 4. クジュラ=カドフィセス

問6 近世の城下町では、身分に応じた居住区の配置が行われた。このうち、主要な街道沿いなど交通の便が良く、商業や手工業の活動に適した場所に配置され、商人や職人が居住した区域を何というか。（2026年 全国公立入試 類似）

1. 侍町 2. 寺社地 3. 町人地 4. 武家地

問7 古代ローマ後期、奴隷制に基づく大土地所有（ラティフンディア）が衰退するなかで、奴隷に代わる労働力として台頭した、家族や財産の所有が認められた小作人を何と呼ぶか。のちに皇帝の法令によって土地に縛り付けられ、中世の農奴の先駆となった。（2026年 全国公立入試 類似）

1. パトリキ 2. コロヌス 3. ノビレス 4. プレブス

問8 19世紀前半のオスマン帝国において、伝統的なイスラームの儀礼や習慣に配慮しつつ、行政・軍事・教育などの各分野で西洋化を推進し、帝国の立て直しを図った一連の近代化改革を何と呼ぶか。（2025年 全国公立入試 類似）

1. ギュルハネ 2. ミドハト 3. ニザーム・ジェディード 4. タンジマート

問9 明治政府は、欧米の先進的な学問や技術、制度を急速に導入するため、多額の俸給を支払って欧米の専門家を多数招聘した。治水事業を指導したデ・レーケや、建築分野のコンドル、大森貝塚を発見したモースなどに代表される、これらの専門家を総称して何と呼ぶか。（2026年 全国公立入試 類似）

1. 文明開化 2. お雇い外国人 3. 殖産興業 4. 官営模範工場

答え合わせ・解説 No.10

問1	答え 1 藩政改革	19世紀前半、幕府の天保の改革と並行して、多くの藩が深刻な財政危機を乗り越えるために独自の改革を断行した。これを藩政改革と呼ぶ。薩摩藩の調所広郷による財政再建や、長州藩の村田清風による撫育方の活用などが代表例である。これらの改革に成功した藩は「雄藩」として経済力と軍事力を高め、幕末の政局において主導権を握る原動力となった。
問2	答え 3 辛亥革命	清朝は支配下にある漢人男性に対して満洲族の風習である辮髪を強制していたが、1911年に勃発した革命によって清朝が打倒され、中華民国が成立すると、近代化政策の一環として断髪（辮髪の廃止）が命じられた。日本の政治家や軍人が洋装を取り入れたのは明治維新以降であるため、日本の洋装と中国側の辮髪が同時に見られる外交交渉は、明治維新からこの革命が起こるまでの期間（1868年～1911年）に絞らなければならない。
問3	答え 2 朝鮮戦争	1950年に勃発した朝鮮戦争に中国の人民義勇軍が介入したことで、アメリカ主導の対中禁輸措置が実施され、香港と中国本土との中継貿易は途絶した。これにより香港は産業構造の転換を迫られ、中国内戦などによって流入した大量の労働力を活用して、繊維やプラスチックなどの労働集約型製造業を急速に発展させることとなった。
問4	答え 3 コロンブス	1492年、スペイン女王イサベルの援助を得たコロンブスは、大西洋を西行してサンサルバドル島に到達した。彼は死ぬまでその地をインド（アジア）の一部と信じていたため、周辺の島々は西インド諸島、先住民はインディアン（インディオ）と呼ばれるようになった。
問5	答え 2 ハルシャ=ヴァルダナ	7世紀前半に北インドを統一してヴァルダナ朝を興した王はハルシャ=ヴァルダナである。彼は仏教や学問を保護し、唐から仏典を求めてやってきた僧の玄奘を厚遇した。彼の死後、ヴァルダナ朝は急速に衰退し、インドは再び分裂期（ラージプート時代）へと移行した。
問6	答え 3 町人地	近世の城下町は、領主の居城を中心に、身分ごとに居住区が明確に区分されていた。主要な街道沿いや水運の便が良い場所は、物資の流通や商業活動に最適であったため、商人や職人が集まる区域として割り当てられ、発展した。これに対し、防御に適した高台や城の周辺には武家地が、城下町の外縁部や特定の区画には寺社地が配置された。
問7	答え 2 コロヌス	ローマ帝国後期、征服戦争の終息に伴い安価な奴隷の供給が途絶えると、奴隷を使用するラティフンディアは衰退した。これに代わり、自作農の没落などによって生じた小作人（コロヌス）を働かせるコロナトウスが普及した。コロヌスは当初自由人であったが、帝国の財政難に伴い、4世紀の皇帝によって土地に緊縛され、移動の自由を奪われて事実上の不自由身分へと移行した。
問8	答え 4 タンジマート	19世紀前半、オスマン帝国のアブデュルメジト1世が発布したギョルハネ勅令によって開始された改革は、タンジマート（恩恵改革）と呼ばれる。この改革は、伝統的なイスラームの価値観や制度との調和を図りながら、中央集権化や軍隊の近代化、法制度の整備などの西洋化政策を推進し、帝国の崩壊を防ぐことを目的としていた。
問9	答え 2 お雇い外国人	明治政府は近代国家の建設を急ぐため、欧米から多数の専門家を雇用した。彼らは技術指導や教育、法制整備など多岐にわたる分野で日本の近代化を支え、日本人専門家が育つまでの橋渡し役を務めた。